

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	音更町農業再生協議会			整理番号	5	
使途名	地力増進作物助成					
対象作物	休閑緑肥 ※対象品種は別紙1のとおり					
単 価	30,268円/10a（35,000円/10aを上限単価とする。）					
課 題	<p>音更町は輪作体系を維持するに当たり、麦・大豆を転換作物の中心に位置づけているが、高齢化や経営規模拡大により労働力不足となっており、麦・大豆の作付が拡大し、過作傾向による連作障害の懸念がある。連作障害が発生すれば、土壌成分や微生物等に偏りが生じ、病害虫や雑草害等の発生により、適正な輪作体系を導入している圃場と比べ収量が2～4割程度低下する。</p> <p>十勝農業改良普及センター指導の下で、音更町農業再生協議会が別紙1に定める土壌病害の軽減や有害線虫に抑制効果のある緑肥を作付け鋤き込むことにより、連作障害の発生を防ぎ、良品質な作物の生産及び安定的な収量を確保することが期待できる。</p> <p>また、緑肥は有機物を土壌に鋤き込むため、土壌の通気性、透水性、保水性が改善され湿害対策としても効果を発揮する。水田地は畑地に比べ排水性に劣るため湿害の発生リスクも高く、湿害に弱い作物を避けて作付することによる連作障害も懸念されるが、特に休閑緑肥を鋤き込むことによる湿害対策は茎葉等の有機物が粗大であることからより効果を発揮し、輪作体系の乱れを防ぐことにも繋がる。</p> <p>以上のことから、休閑緑肥の作付けに対し支援を行い、地力増進作物を組み入れた地域の作付体系を促進することにより地力の増進及び排水性の向上を図り、次年度以降の収益力向上を目指す。</p>					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作付面積	目標	-	7.0ha	7.3ha	7.5ha
	作付面積	実績	5.9ha	5.6ha	3.7ha	-
内 容	適切な輪作体系を維持し、安定的な作物収量を確保することにより次年度以降の収益力向上を目指して地力増進作物（休閑緑肥）を作付し、収穫せず鋤き込むことにより地力の増進及び排水性向上を図る農業者に助成を行う。					
具体的要件	<p>○対象農地：水田地 ○助成対象者：対象作物を普及センター指導の下で作付けした農業者</p> <p>作付した対象作物を、ほ場に鋤き込む農業者に助成を行う。 ただし、連年緑肥（2年以上連続した地力増進作物）は、助成の対象とならない。</p>					
取組の 確認方法	○助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物： 営農計画書、交付申請書、現地確認、作業日誌、その他取組を証明できる書類等。					
成果等の 確認方法	令和5年12月頃の産地交付金実績報告時までには作付面積を集計し、過年度との比較を行う。					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和4年度から新規に設定した目標については、令和2年度及び3年度の目標の記載は不要です。